

平成24年(2012年)2月2日  
強い冬型の気圧配置による大雪  
(京都府などで大雪)

---

～ 「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組 ～

大阪管区気象台



## 大雪による交通障害が多数発生。負傷者や住家被害も

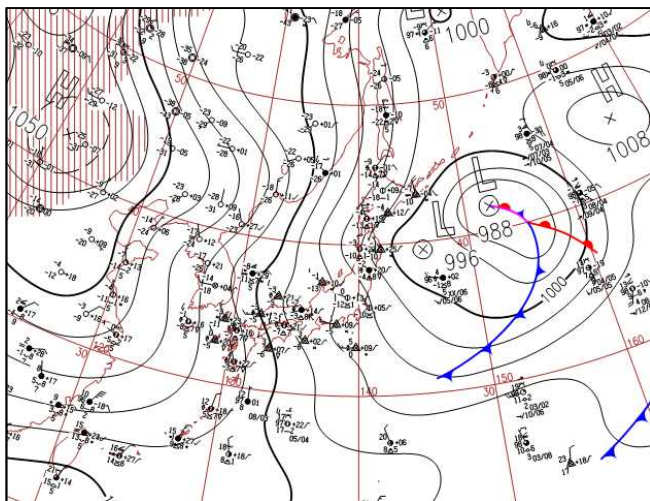
(高速道路や一般道路で通行止め多数、鉄道でも運休や遅延が発生、負傷者や住家の半壊等の被害も発生)

### 【概要】

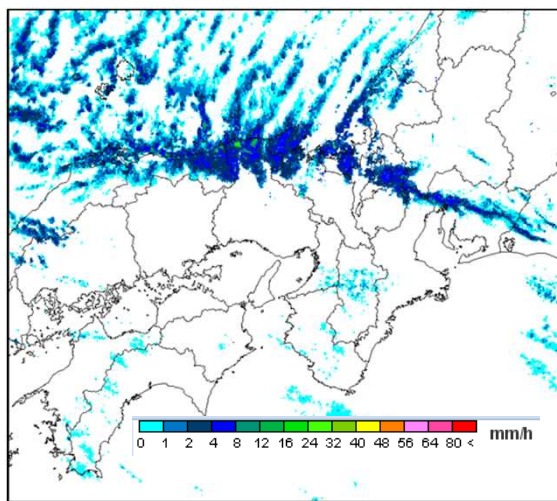
平成24年2月1日03時に日本海にあった低気圧は発達しながら東へ進み、2日03時には三陸沖に進んで、冬型の気圧配置が強まっていた。このため近畿地方では北部を中心に1日から雪が降り、京都府の舞鶴では2月2日の最深積雪が87センチで極値順位が1位、降雪の深さ日合計が46センチで極値順位が4位となるなど、大雪となった。(舞鶴統計期間：月最深積雪 昭和22年4月～、降雪の深さ日合計 昭和28年1月～)

この大雪により、近畿地方の北部では高速道路や国道、一般道路の通行止めが多数発生したほか、鉄道も運休や一部運休、除雪作業や転倒による負傷、農業施設や農作物への被害、停電などが発生した。

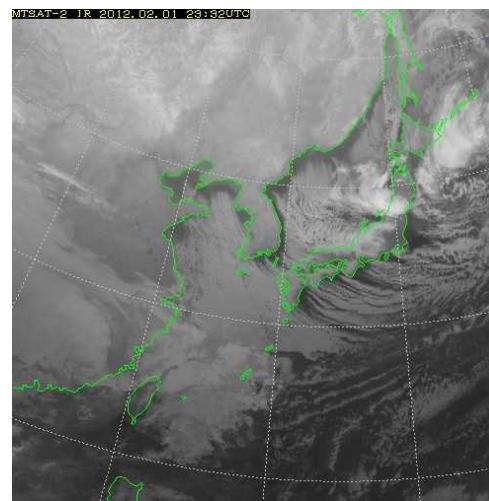
被害は当時の新聞記事等から収集したものです。



地上天気図  
(平成24年2月2日09時)



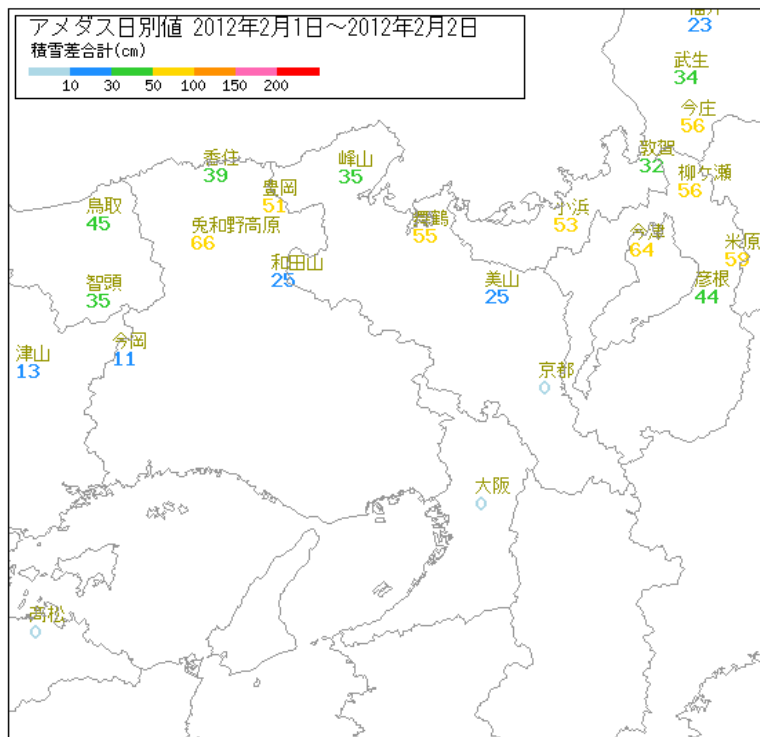
気象レーダー画像  
(平成24年2月2日09時)



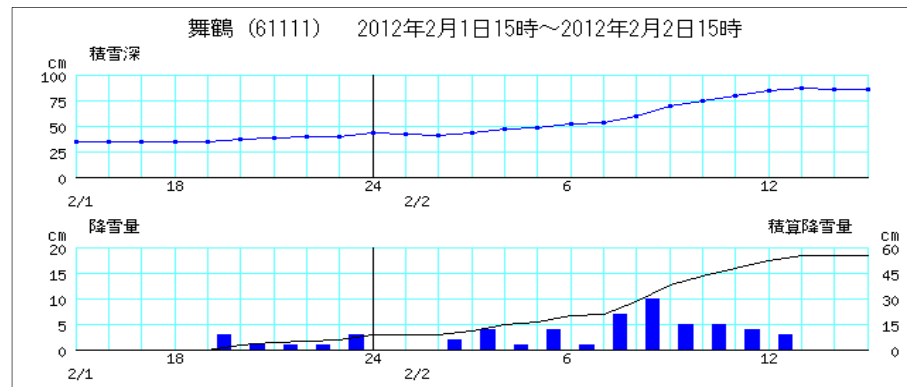
衛星赤外画像  
(平成24年2月2日09時)



## 降雪量(平成24年2月1 2日の合計値)



## 舞鶴の降雪と積雪の深さ



## 雪がもたらす災害

積雪害	鉄道や道路に雪が積もり交通障害をもたらす。また交通障害に伴い、生活・企業活動への影響を及ぼす。農作物への被害など。
風雪害	吹雪によって視界が悪くなり、交通障害や事故をもたらす。
雪圧害	積もった雪の重みで家屋・施設が倒壊したり、果樹などの枝が折れて損傷する被害。
雪崩害	斜面の雪の一部が崩壊してもたらされる災害。
着雪害	湿った雪が送電線や通信線に付着して、その重みで断線したり、鉄塔や電柱などが倒壊する被害。また樹木等にも湿った雪が付着して、その重みで枝が折れて損傷する被害。